科目名	特別講義(保健医療政策学)	分野・必選別・単位数	教養科目(*1)	自由	1単位

担当教員	◎客員教授　Alastair Gray						
課程	「その他履修上の注意事項」欄参照	配当年次	「その他履修上の注意事項」欄参照	配当学期	「その他履修上の注意事項」欄参照	授業方法	「その他履修上の注意事項」欄参照

授業の概要	経済学とは、また医療経済学とは何か。本講義ではコストを軸とした健康と豊かさの評価、費用対効果の概念を中心に、公衆衛生の経済学的側面の基礎を身につける。
授業の到達目標	【一般目標(GIO)】 1.医療経済学をコスト・効果の対比で理解する。 【行動目標(SBO)】 1.保健と医療の文脈における経済学および経済学的手法について説明できる。 2.コストの概念を説明できる。 3.クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)を測定し、評価するための技術を説明できる。 4.費用対効果分析の概念を理解できる。

授業計画

回数	担当者	講義タイトル
1	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/20(月)9:00～10:30】 経済、医療、そして医療経済学
2	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/20(月)10:45～12:15】 経済学の手法を医療分野に適用する
3	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/21(火)9:00～10:30】 コスト
4	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/21(火)10:45～12:15】 疾病のコストと負担
5	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/22(水)9:00～10:30】 クオリティ・オブ・ライフの測定と評価
6	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/22(水)10:45～12:15】 疾病のモデリングと意思決定モデル
7	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/23(木)9:00～10:30】 優先順位決定のための費用対効果分析の導入
8	Alastair Gray　教授(客)	【2020/1/23(木)10:45～12:15】 還付決定のための費用対効果の導入(英国のNICEを例に)

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】事前に講義用資料が専用HP上に公開されるので目を通しておくこと。 【事後学修】講義中の疑問点を講義資料等を用いて、次回講義までに解決しておくこと。 【必要時間】当該期間に15時間以上の予復習が必要。
教科書	特に指定しない。
参考書	講義で紹介。
評価方法	(1)授業における議論への参加度(50%) (2)最終の口頭試験(50%)
その他履修上の注意事項	(*1)H29年度以前入学生までは「自由科目」 本科目は公衆衛生学研究科の「ハーバード特別講義(保健政策・医療管理学Ⅰ～Ⅲ)」で、医療技術学研究科においても専攻・課程・学年を問わず受講可能です。4日間の集中講義で行われます。 ・各回終了後には、日本人教員による補講が行われる。 ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 (※)年度により開講内容が異なる場合があり、Ⅰ～Ⅲのいずれかを開講する。 (※)担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。 (※)また、具体的な授業日時、授業内容については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。